

表-6.8.2(5) 改変区域内において確認された重要な種の分布及び生育状況に基づく変化の程度の検討(その2)

No.	分類群			国外、国内、沖縄県における分布状況			石垣島内における生育状況			注6 現空港予定地関連調査				重要な種の分布及び生育状況の変化の程度						指定及び選定状況					
	目	科	種	注1 国外	注2 国内	注3 沖縄県	注4 石垣島内	注5 石垣島内 ランク	改変区域外 での確認	改変区域内での確認		合計	重要な種の分布及び生育状況の変化の程度						法的規制		その他				
										予定地	障害地		注7 天然記念物	注8 第2回	注9 第3回	注10 植物群	注11 環境省	注12 沖縄県							
8	ミシキ	クロキカスラ	カサミスキ	台(蘭嶼、カ ンボシア、 印、セイロン)	奄(大和 村)	石、西	やや広範に分布するが、個体数は少ないものと推定される。石垣島では薬用として栽培されている。 [環境庁RDB]全国4457中、2マッシュ内の限られた場所に見られる。おそらく50個体未満であると推定される。自生地はごく限られており、個体数は少ない。 [沖縄県RDB]海岸林は開発が進んでおり、自生地はごく限られており、個体数は少ない。 [平成9年度 新石垣空港(宮良地区)環境影響予測評価委託業務]調査対象範囲の広範に見られるが、個体数は不明。 [平成13年度 新石垣空港環境現況調査委託業務報告書]調査対象範囲の広範に見られるが、個体数は少ない。 [平成14年度 新石垣空港環境現況調査委託業務(その2)報告書]調査対象範囲の広範にみられるが、個体数は少ない。	A	35	13	14	62	石垣島内の個体数は少ないものと推定され、また、調査範囲内の確認個体のうち、造成工事によりその半数が消失することから、事業実施区域周辺の個体群が存続できないおそれがあるものと考えられる。											I A	危 急
9	タキノキ	タキノキ	リュウキュウコウタン	台、中南、 マレーシア、シ ロネシア、 印	—	沖、宮、 石、西、 与、波、 魚	広範に分布し、個体数は多いものと推定される。庭園樹、道路緑化樹、公園樹、盆栽、用材として利用されている。	C	80	45		125	石垣島内に広範に分布し、個体数は多いものと推定され、また、調査範囲においても改変区域外で多数が確認されており、かつ、改変区域外の個体数が改変区域内の個体数より多いことから、事業実施区域周辺の個体群が存続できないおそれはないものと考えられる。											準	
10	アカネ	アカネ	ヒシハリノキ (シナミサオノキ)	台、中南	—	石	やや広範に分布するが、個体数は少ないものと推定される。 [環境庁RDB]石垣島の限定された場所に少数個体が生育していたが、現状不明である。 [沖縄県RDB]石垣島に自生地1ヶ所のみ知られ、個体数は少ない。 [平成9年度 新石垣空港(宮良地区)環境影響予測評価委託業務]調査対象範囲の広範に見られるが、個体数は不明。 [平成13年度 新石垣空港環境現況調査委託業務]調査対象範囲の広範に見られるが、個体数は少ない。 [平成14年度 新石垣空港環境現況調査委託業務(その2)報告書]調査対象範囲のやや広範にみられるが、個体数は少ない。	A	5	1	78	84	本種の生育環境である石灰岩地は減少しており石垣島内における個体数は少ないものと推定され、また、調査範囲内の確認個体のうち、造成工事によりそのほとんどが消失することから、事業実施区域周辺の個体群が存続できないおそれがあるものと考えられる。											I A	危 急
11	ウ	ウ	イシガキカスラ <先島諸島固有種>	—	—	宮、石、 西	広範に分布するが、個体数は少ないものと推定される。 [環境庁RDB]全国4457マッシュ中、2マッシュに少数の個体が見られる。おそらく50個体未満であると推定される。 [沖縄県RDB]石垣島ではやや多いが、宮古島と西表島では希である。	A	4		2	6	石垣島内における個体数は少ないものと推定されること、調査範囲内における確認個体数が非常に少なく、そのうちの半数が消失することから、事業実施区域周辺の個体群が存続できないおそれがあるものと考えられる。											I A	希 少
12	イネ	イネ	タイワンアシナギ	台、中南	喜、沖 永	沖、伊 平、宮、 石、西、 与	広範に分布し、個体数は多いものと推定される。	B	多数	多数	多数	多数	石垣島内に広範に分布し、個体数は多いものと推定されるが、本種の生育環境である湿地・水田が減少している状況を考慮すると、造成工事により個体が消失することにより、事業実施区域周辺の個体群が存続できないおそれがあるものと考えられる。											準	
13	カヤツリグサ	カヤツリグサ	ヤリテンクキ	台、中南、 マレーシア、 豪、阿	神奈 川、紀 伊半 島、九	沖諸	広範に分布し、個体数は多いものと推定される。 [環境庁RDB]全国4457マッシュ中、現存するのは7マッシュで数十個体、1マッシュで数百個体、2マッシュで数千個体であり、総計約7000個体と推定される。	C	多数	多数	多数	多数	石垣島内に広範に分布し、個体数は多いものと推定されること、改変区域外に多数確認されていることなどから、事業実施区域周辺の個体群が存続できないおそれはないものと考えられる。											II	